

●福島原発事故被害者への全面的な補償・賠償を求める意見書：可決

東京電力がすべての原発事故被害者に全面的な補償・賠償を早期に実施するように国に求めるもの。

〔提出者〕

加増議員ほか1人

〔討論〕

遠山議員：福島原発周辺の8万8000人以上の方々
が避難所で暮らしている。取手市議会としてしっかりと支援する立場を表明し、意見書を届けよう。賛成。

●被災者生活再建支援法の抜本的な拡充を求める意見書：可決

東日本大震災被災者の生活地域の再建へ被災者生活再建支援法の抜本的な拡充を国に求めるもの。

〔提出者〕

林議員ほか2人

〔討論〕

遠山議員：国がどのような役割と責任を果たすかが問われている。一日も早い被災者救済、復興のために法律の抜本的拡充を行うよう意見書を提出したい。賛成。

●放射能汚染から取手市内の乳幼児や子どもたちの未来と健康を守るための決議：可決

取手市議会は執行機関とともに、乳幼児、子ども達の

受ける被ばく線量をできる限り減らすことに全力で取り組むことを決議するもの。

〔提出者〕

小泉議員ほか1人

〔討論〕

貫井議員：公明党取手市議員は、汚染から子どもたちの未来と健康を守るため市長等に要望書を提出した。取手市及び教育委員会の全力の対応を強く求め、賛成。

遠山議員：市と議会は一緒に、この大変な、重要な案件を乗り越えられるよう研究調査し、そして取り組んでいくことを述べて賛成。

平議員：市が線量計を大量に買い入れても、近い将来、市には、実のある取り組みをぜひお願いしたい。賛成。

●取手駅周辺地区の整備と市民の理解を慎重に進めることを求める決議：可決

取手駅周辺地区の整備は、市民意見の把握に努め、関係地権者の理解を十分得てから行うよう市に求めることを決議するもの。

〔提出者〕

佐藤（清）議員ほか1人

〔討論〕

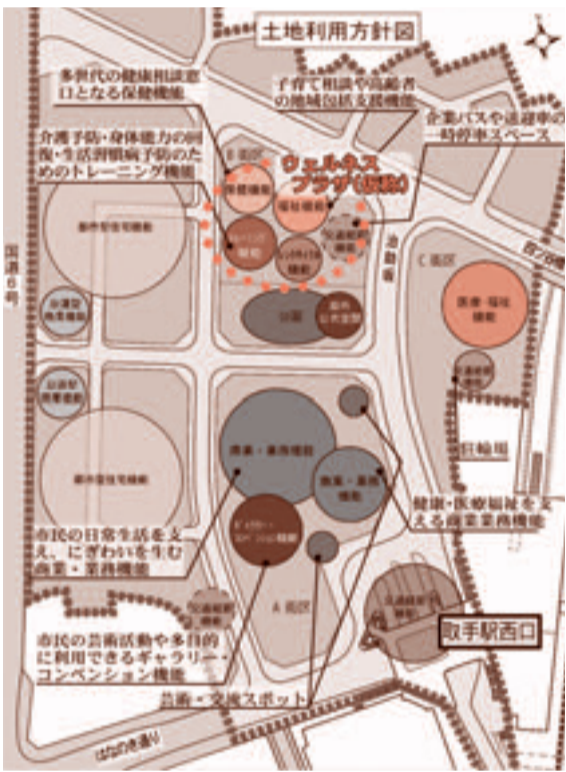
林議員：市民や地権者の意見を聞かずに進める姿勢が不信任を突きつけられている。十分な理解を得てから事業に着手することが一番大切と考える。賛成。

あの言葉、どんな意味？ 「ウェルネス・タウン」

今回の定例会では、東日本大震災に関係する質問に加え、取手駅西口地区開発に関係する質問も数多くの議員から出されました。その中で「ウェルネス・タウン」という言葉が何度も出てきました。ここでは、その「ウェルネス・タウン」の言葉の意味を解説していきます。

「ウェルネス・タウン」とは、取手市がこれからの取手駅西口地区のまちづくりの目標として提唱している考え方です。では、「ウェルネス」とはどのような意味なのでしょうか？ ウェルネスとは、健康的に日々の暮らしを送るために「生活の質」を高めて、生涯にわたる健康的なライフスタイルの確立を目指す生き方の概念です。

市では、「市民の健康を増進し、活力を創出する中心市街地 ウェルネス・タウン取手の創造」として、取手駅北土地利構想を再立案し、市民意見公募（パブリックコメント）を経て公表する予定です。議会に示された構想案の中では、ウェルネス・タウンを実現するために健康、医療、福祉、そして環境の機能を持つ施設を治助坂両脇のB街区（茨城県学生寮跡地）とC街区（四ッ谷橋もと）に配置する計画になっています。



皆さんの希望です 請願

請願は、国や公共団体等に、その担当事項に対する希望を申し出ることです。

請願をする権利は、憲法で保障されています。取手市議会では、議員の紹介により請願ができます。

●公立学校の耐震化に関する請願：採択（市長・教育委員長へ送付）

迅速な公立学校の耐震補強工事の着工と、公立学校耐震化の年度計画の情報開示を求めるもの。

〔紹介議員〕

赤羽議員

〔討論〕

遠山議員：市長も教育委員会も議会もしっかり受けとめ、迅速な公立学校耐震補強工事の着工と年度計画の情報開示を強く求め、賛成。

阿部議員：今後、公立学校の耐震補強工事の着工をスピードを上げて進めていくことを求め、賛成。

〔討論〕

●請願書「ハツ場ダム等水源開発の検証検討について」：不採択

ハツ場ダム等の検証検討と、無用な水源開発から撤退し、水道料金の引き下げを県に求める意見書の提出を求めるもの。

〔紹介議員〕

野口議員ほか1人

〔討論〕

野口議員：茨城県に、ハツ場ダムなど無用な水源開発から撤退し、水道契約水量の見直しと料金引き下げを求めることは当然。賛成。

●稀少なヘイケボタルやメダカが生息する自然環境の保全を求める請願：継続審査

米ノ井での大規模な埋め立てでホタルやメダカのみ小川に土が流れ込まないようにするなど、埋め立て業者への指導を市に求めるもの。

〔紹介議員〕

野口議員ほか2人

